

# 博士課程

## Doctoral Program



## 博士課程の概要

### Program Outline

本学博士課程文化交流専攻には、言語コース、文化コース、国際社会コースの3つのコースがあります。

本課程は、言語、文化、歴史、政治、経済、社会、国際関係等の領域を従来のように閉じられたものとしてではなく、「交流」、「接触」、「摩擦」、「共生」といった相互の関係性の中でとらえていくことが必要不可欠だと考えます。そのため、研究領域の枠組みをできるだけ緩やかに柔軟なものにすることによって、それぞれの分野が相互に刺激し合い、研究・教育のより一層の活性化をはかるとともに、創造的で大胆な発想を備えた知性を生み出したいという配慮のもとに、一専攻のなかに3コースを設置しました。

The Doctoral Program provides students with a choice of three courses: the Linguistics Course, the Cultural Studies Course and the Social Studies Course. Students study the interchange, contact, friction and coexistence of cultures, all common to their fields of study, while they are also engaged in research in their respective areas of specialization. This curriculum gives students the opportunity to be original and creative, and it aims to foster those who can reshape conventional and closed fields of study into highly interdisciplinary new ones.

### 修業年限 Course Term

3年 Three Years

### 入学定員 Enrollment Quota

専攻 Major	コース Course	定員 persons
文化交流専攻 Cross-Cultural Interaction	言語コース Linguistics	12
	文化コース Cultural Studies	
	国際社会コース Social Studies	

### 学位 Degree

専攻名・コース名 Major & Courses	学位 Degree	学位に付記する専攻分野の名称 Major Appended to the Degree
文化交流専攻 Cross-Cultural Interaction ・言語コース Linguistics ・文化コース Cultural Studies ・国際社会コース Social Studies	博士 Ph.D.	文学 Literature 国際関係学 International Relations 学術 Philosophy

\*学位記は日本語で発行します。希望する者には英訳の証明書を学位記とともに発行します。

The Doctor's Degree Certificate is issued in Japanese. Its authenticated English translation is available upon request.



## 課程修了要件 Program Completion Requirements

外国語学研究科において博士の課程を修了し、博士の学位を得るためには、本学博士課程に3年以上在学し、大学院履修規程に定める授業科目のうち、専攻するコースの授業科目4単位以上を含む合計6単位以上を取得するとともに、博士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格することを要します。

A candidate for the Doctor's degree will study at the university for at least three years, acquire 6 credits or more from the predetermined class subjects, submit a Doctoral Dissertation and pass its screening in addition to the final examination.

## 学位授与方針 Diploma Policy

所定の単位の取得と博士論文の提出を前提とします。博士論文においては、研究テーマの妥当性、先行研究との関連性、当該分野への学術的な貢献度、論理展開の透徹性、方法論の客観性・一貫性などを中心に総合的に評価します。独創的な視点で研究を遂行する自立した研究者として、将来にわたって活躍が期待される博士論文提出者に対し学位を授与します。

博士論文審査会



## 神戸市外国語大学学術情報リポジトリ Repository of Kobe City University of Foreign Studies

<https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/>

本学の教員・院生の作成した教育・研究成果物を保存し、学内外に無償で公開しています。

This is the University's institutional repository which aims to provide open-access to KCUFS research results from a variety of sources, including journals, working papers, scholarly materials, and doctoral dissertations.



# 博士課程研究支援

Research Support

## 学術国際会議研究発表助成 Grant for travel expenses

博士課程に在学し、海外で開催される学術国際会議や学会において研究成果の発表を行う方を対象に、大学から補助金を支給します。

【助成内容】 学会等の登録料及び国際航空運賃(往復)の実費 上限300,000円/人

KCUFS provides doctoral students with travel expenses and registration fees up to 300,000 yen who make presentation at an international conference held outside Japan.

### おすすめします

学術国際会議研究発表助成

張 岩  
(言語コース3年)

私はこの制度を何度も利用したことがあります。国際学会は登録料が思っている以上に高額なものが多く、交通費と登録料を支援してもらえるのは、何より幸せなことです。また、この制度を利用したことで、海外の研究者たちとより深く交流できるきっかけとなりました。学会発表に挑戦することを決めたら、すぐにでも申請することをお勧めしたい制度です。

## ティーチング・アシスタント Teaching Assistant

博士課程の学生が将来教員・研究者になるためのトレーニングの機会を提供するため、ティーチング・アシスタント(T.A.)の制度を設けています。

KCUFS offers teaching opportunities for future teachers and researchers.

### おすすめします

ティーチング・アシスタント

徐 小茜  
(文化コース3年)

TA制度を利用しました。中国学科一年生の発音練習を担当させていただいたことがあります。授業前に20分から30分ぐらいで、発音練習の指導を行ないました。

日本語母語話者にとって特に習得の難しいのは声調や、日本語の発音体系にない母音、子音などです。これらの発音指導の方法を事前に調査し、準備することによって、中国語の音節構造に関する理解を深めることができました。また、実際の指導経験を通して、中国語が初めての学習者にとって、どのような所が難しく思われるのかを、実感しました。非常に貴重な体験だと思えます。

## 研究成果の公表支援 Grant for publishing

### 研究科論集 Kenkyuka Ronsyu (Journal)

「博士課程院生協議会」が主体となり、毎年論集を1冊発行しています。印刷費として上限20万円を大学から補助しています。

KCUFS provides up to 200,000 yen to doctoral students who publish a journal which is edited independently by doctoral students once a year.

### 神戸外大論叢 The Kobe City University Journal

教員の研究成果の発表の場として刊行している外大論叢に、論文掲載の応募することができます。

KCUFS offers publication opportunities of research results for professors and doctoral students can apply their journal to be posted on it.

## 在学延長制度 System for Extension of Enrollment Period

本学大学院博士課程に在籍する者で、学位論文(博士論文)の執筆のために標準修業年限(3年)を超えて引き続き研究活動を行う者に、在学を認める制度です。

This system allows for an extension of the enrollment period for those students who would like to continue working on their doctoral theses.

If the extension is granted, the tuition fee(s) will be waived.



# 文化交流専攻

Cross - Cultural Interaction



## 言語コース Linguistics Course

本コースは、日本語とその近隣言語を対象とした包括的な言語研究を行うことを目的としており、各言語の交流と接触の諸相を見通しながら個々の言語を研究するとともに、時間と空間、地理的特性などの観点から多様な言語を比較研究します。

This course aims at providing comprehensive language studies by focusing on Japanese and its neighboring languages, observing prospects of language exchange and contact in the future, studying each individual language, and comparing various languages in terms of time, space and geographical features.

## 文化コース Cultural Studies Course

文化コースは、世界を、日本を含むアジア地域、中近東とアジアの一部を含むイスラム圏、ヨーロッパと南北アメリカの4つの地域に分け、それら相互の交流、接触と個々の文化研究を着実かつ創造的に研究します。

The course aims at promoting surefooted and creative studies under the four divisions of a cultural framework: Asia including Japan, Russia, Europe and the Americas combined, and an Islamic sphere, instead of the traditional divisions based on political structure.

## 国際社会コース Social Studies Course

このコースでは、激動と変革の時代の中で大きく揺れ動いている国際社会を、その基礎となる地域社会の研究を出発点にしながら相互関係を含めて総合的に研究を進めます。法律政治、経済経営、地域研究の3つの分野における多様なプログラムを提供します。

In this course, we provide a variety of programs in three fields based on our university's long tradition as a foreign language educational institution: Law and Politics, Economics and Management, and Area Studies.

## 博士論文の執筆 Writing of Doctoral Dissertation

博士課程に入学した者は、1年次・2年次の各年次において、入学当初に提出した「執筆計画書」に沿い、「報告論文」を作成し指導教授に提出します。2年次の報告論文の審査に合格した者には、論文執筆許可が与えられ、論文執筆許可を得た者は、学内3名以上からなる審査委員会によって行われる「予備審査」に申請することができます。

予備審査に合格すると「本審査」の申請をすることができ、本審査では予備審査委員に学外専門家1名以上を加えた博士論文審査委員会において審査を行います。

Doctoral students must submit an "annual study report" to their supervising professor in both their first and second years according to the "writing plan" submitted upon enrollment. Those who pass the screening of the second year report are allowed to write a Doctoral Dissertation and apply for preliminary screening. Students who pass the screening are then allowed to apply for the final screening. The final screening committee is composed of scholars, including at least one from outside this university.

## 研究指導担当教員 Faculty

### 言語コース Linguistics Course

**日本語演習** Japanese Linguistics  
福田嘉一郎 Yoshiichiro FUKUDA ●教授/Professor  
岩男 考哲 Takanori IWAO ●准教授/ Associate Professor

**アジア言語演習** Asian Linguistics  
林 範彦 Norihiko HAYASHI ●教授/Professor  
任 鷹 Ying REN ●教授/Professor  
下地早智子 Sachiko SHIMOJI ●教授/Professor  
竹越 孝 Takashi TAKEKOSHI ●教授/Professor  
金子百合子 Yuriko KANEKO ●教授/Professor

**欧米言語演習** European & American Linguistics  
本多 啓 Akira HONDA ●教授/Professor  
Montserrat SANZ モンセラット・サンス ●教授/Professor  
山口 治彦 Haruhiko YAMAGUCHI ●教授/Professor  
川口 正通 Masamichi KAWAGUCHI ●准教授/Associate Professor

### 文化コース Cultural Studies Course

**日本文化演習** Japanese Culture  
山本 昭宏 Akihiro YAMAMOTO ●准教授/ Associate Professor

**アジア文化演習** Asian Cultures  
北見 諭 Satoshi KITAMI ●教授/Professor  
秦 兆雄 Zhaoxiang QIN ●教授/Professor  
清水 俊行 Toshiyuki SHIMIZU ●教授/Professor  
Elena BAIBIKOVA エレナバイビコワ ●准教授/Associate Professor  
紺野 達也 Tatsuya KONNO ●准教授/Associate Professor

**欧米文化演習** European & American Cultures  
David Lee FARRAH デイヴィッド・リー・ファラ ●教授/Professor  
成田 瑞穂 Mizuho NARITA ●教授/Professor  
西川 健誠 Kensei NSHIKAWA ●教授/Professor  
野村 竜仁 Ryujin NOMURA ●教授/Professor  
山之内克子 Yoshiko YAMANOUCHI ●教授/Professor  
吉川 朗子 Saeko YOSHIKAWA ●教授/Professor

### 国際社会コース Social Studies Course

**国際法政比較研究** Comparative Studies of International Laws and Politics  
五月女律子 Ritsuko SAOTOME ●准教授/ Associate Professor

**国際経済・経営比較研究** Comparative Studies of International Economy and Management  
中村 嘉孝 Yoshitaka NAKAMURA ●教授/Professor  
田中 悟 Satoru TANAKA ●教授/Professor  
江坂 太郎 Taro ESAKA ●准教授/ Associate Professor

**地域研究** Area Studies  
千葉 典 Tsukasa CHIBA ●教授/Professor  
大石 高志 Takashi OISHI ●教授/Professor

## 最近の博士論文のテーマ Recent Doctoral Dissertation

- ・ L2 Learning Programs for Seniors : Maximizing Life Experience, Knowledge, and Motivation through a Training Course on Tour Guiding in a Foreign Language
- ・ Rhetoric at Work : A Discursive Approach to the Rhetorical Notion of Allegory
- ・ 高等学校レベルのL3教育：集中講義形式のスペイン語教育を通じた英語能力の向上とグローバル人材の育成
- ・ 中近世スペインにおける聖ヤコブ崇敬の連続性 ―民衆の「祈り」―
- ・ 日本の垂使徒聖ニコライの聖典翻訳研究 ―正教会の用語翻訳の特殊性をめぐって―
- ・ 汉语方位词的语义演化路径及其认知机制研究---主要以“上”、“下”为例---  
(中国語における方位詞の意味変化プロセスと認知メカニズムの研究 ―主として「上」、「下」を例に―)
- ・ 現代日本語のヴォイスに関する研究 ―中国語との対照を交えて―
- ・ 日本語と中国語における名詞句の意味機能に関する対照研究
- ・ 中原官話汾河片音韻史研究(中原官話汾河支派方言グループ音韻史研究)
- ・ Perception and Linguistic Form:A Cognitive Linguistic Analysis of the Copulative Perception Verb Construction  
(知覚と言語形式:連結的知覚動詞構文に関する認知言語学的研究)
- ・ 漢語福清方言の記述言語学的研究
- ・ Estudio comparativo de las mimesis del japonés y el español.Propuesta de marco teórico ante los problemas de traducción  
(日西オノマトベ比較研究 翻訳のための理論的枠組みの提案)



### 院生紹介 Message from a Student

#### -なぜ博士課程に進学しようと思いましたか。

他大学卒業後、主に海外において企業・組織等に勤めるなどの経験をしました。その後、日本では、他大学での修士課程を修了し、教育の場に関わることができました。これらの実践的な経験を通して、研究者として自身のイニシアティブでより深く研究に取り組みたいと考えるようになり、神戸市外国語大学の博士課程への進学を考えました。博士課程では、修士課程で取り組んだ内容とは異なる、自分が関心の高い研究テーマにチャレンジしました。

#### -これまでの研究活動でどのような経験をされましたか。

国内外の学会等での発表に参加することで、様々な見解を得ることができました。また、論文の執筆においては、指導教員の先生を始め、先生方に指導やアドバイスをいただき研究について多く学ぶことができました。また、博士課程の研究を通して、今後、どのよ

うな研究内容に取り組んでいきたいのか、目指したいのかといったことをデザインしながら確認できたと感じます。

#### -博士課程への進学を考えている人にメッセージをお願いします。

限られた時間の中で、博士課程としての研究に取り組むことは強い意志が必要かと思います。そのため、自分なりに計画的に、また自身の取り組む研究テーマへの興味を忘れないようにしました。これまでの経験を活かしながら、今後の実践の場での可能性もイメージすることで、研究や執筆を前向きに続けることができるのではないかと思います。

澁谷 恵美  
Emi SHIBUYA  
(2020年度修了生)